

とらいあんどる

平成24年1月 第5号

『2011男女共同参画フォーラムinえびの』 ～いつまでも 男女（みんな）が輝く えびの市へ～



印南百合子さん

今年で5回目となる男女共同参画フォーラムを、11月6日（日）、えびの市文化センターで開催しました。このフォーラムは、1回目から、市と市民の皆さんとの「協働」という形で進められ、今年も市内の15団体で実行委員会をつくり、6月から準備を重ねてきました。

当日は遠く串間市をはじめ市内外から述べ260人が参加し、基調講演や分科会を通じ、男女共同参画社会づくりの実現に向けた学びを深めあいました。

基調講演は、『男女共同参画は すてきなこと』と題し、かごしま県民交流センターハーモニー推進課長の印南百合子さんにお話をさせていただきました。

「今日は、知識を得るといより感じていただきたい。」と始まり、事業所などに（育児休業等の制度導入など）努力義務があるにもかかわらず進まない原因の背景、“男性は仕事、女性は家庭”という考えに賛成の人がまだまだ多い（全国的には反対の人のほうが多い）こと、男女共同参画の意識を学校や家庭で教えることは大切なことであること、女性の非正規雇用の問題が及ぼす影響（未婚・晩婚化、年金額、貧困など）、男性のジェンダー意識による自殺、うつ病、DVなど、多岐にわたってお話をされました。

「先日飛行機の中で赤ちゃん連れのお母さんと隣り合わせになりました。彼女は、乗ってきたときから『すみません。すみません。』と言っていました。小さな子どもを連れていることでいつも周りに『すみません』と謝り続けてきたのでしょうか。疲れた私には、時折、子どもの足が触れてくるのがむしろ心地良かったのです。『すみません』が『ありがとう』に変わっていったらとてもすてきですね。男女共同参画は“すてきなこと”なのです。」と締めくくられました。



浜松政弘さん

オープニングは、栗下にお住まいの浜松さんに♪サクソ演奏をしていただき、すばらしい音色に気持ちも和らぎました♪



フォーラム実行委員会の皆さん

【用語】ジェンダー意識（「男だから、女だから」といった社会的・文化的につくられた意識）、DV（ドメスティック・バイオレンス：親密な関係にある男女間の身体的・精神的・経済的等の暴力）



高崎 恵さん

分科会①（ワークショップ）は、『私たちの想いをあつめて 男女共同参画社会へ！』～男女共同参画は一人ひとりの豊かに生きる姿を見つめている～と題し、オフィスピュアの高崎恵さんにファシリテーターとなって進めていただきました。

「後出しじゃんけんで負ける」というゲーム・・・出された手に、つい勝つ手を出してしまい、思うようにできず・・・価値観や常識（思い込み）を再認識するゲームで始まり、日頃（男女共同参画の視点で）家庭や職場、地域で感じている事を『つぶやき』としてそれぞれがメモ紙に書き出していく作業・・・参加者は壁向きになり（独りになる疑似環境）、男であること、女であることにより経験したつらさを書き、その「つぶやき」をみんなで共感し合いました。

最後にファシリテーターは、「関係が深いほど、意見や対話が難しいが、対話を重ねることでお互いに居心地が良くなります。」「男女共同参画の視点で地域を見ること、苦しい思いをしている人はいないかなど、今日学んだことを是非考えてほしい。そして、ここで出た『つぶやき』を社会化していくことが大切だと思います。」とまとめられました。



榎木田朱美さん



時任一成さん



外園幸子さん

分科会②（参加型パネルディスカッション）は、『家庭の中の 男女共同参画』～イクメン・カジダンを語ろう～と題し、パネリストに、育児休業を取得された都城市役所職員の時任一成さん・元地域育児サークル副代表の外園幸子さん、そしてコーディネーターにUMKテレビ宮崎報道部キャスターの榎木田朱美さんをお願いし、ディスカッションをしていただきました。

周回の理解により、父親として育児休業をとり、子どもの世話や家事（イクメン・カジダン）に試行錯誤した時任さんのお話、育児に悩み精神的なつらさや育児サークル活動・専業主婦の体験をされた外園さんのお話、初めての育児と家族や保育園等の支援を受けて仕事の両立をされている榎木田さんのお話を交え、また、会場の参加者の体験談や質問もありました。

男性が育児・家事に対する理解・参加が大事。家庭では、仕事と育児のバランスが大事であり、妻だから家事をしないとイケないではなく「誰がすればバランスがとれるか」ということなどを話し合っていくことが必要。日頃の夫婦のコミュニケーションが重要。イクメン・カジダンという言葉だけが走って一過性のものにならないように、本当の意味で男性が家庭のことに参画し、そして一緒に家庭を守る女性がいて、そして支援する地域等がある状況が理想的。…等の意見が出されました。

また、育児休業を取得した経験のある男性参加者の「自分が育児休業を取得できたのは、妻も正規雇用だったからであり、非正規雇用であれば男性も育児休業を取得することにはならない。正規・非正規の雇用問題、制度を変えることも必要です。」という意見が印象的でした。

【用語】ワークショップ（参加者に自主的に活動させる講習会）、ファシリテーター（いろいろ出された意見等を集約したり導いたりする人）、パネルディスカッション（テーマに添って討論し、聴衆は質問したりして参加する）、ディスカッション（討論）、パネリスト（討論者）、コーディネーター（調整者）、イクメン（育児をする男性）、カジダン（家事をする男性）

～政策・方針決定過程への女性参画状況～

(県内9市：H22年4月1日現在 県の調査より)

市町村名	審議会等における女性委員の登用状況				
	H22.4.1			H21.4.1	前年度差 (ポイント)
	割合 (%)	委員数 (人)	うち 女性数 (人)	割合 (%)	
延岡市	26.8	436	117	25.6	+1.2
えびの市	26.5	219	58	22.6	+3.9
宮崎市	25.1	1126	283	—	—
小林市	22.8	372	85	—	—
西都市	22.8	333	76	22.3	+0.5
串間市	21.0	353	74	21.3	-0.3
日向市	20.9	398	83	23.1	-2.2
都城市	20.5	546	112	21.3	-0.8
日南市	19.8	450	89	10.3	+9.5
えびの市 (H23.3.31)	25.3	572	145		+1.2

※広域で設置されている審議会等は含まれていません。

※市によっては、調査時点が異なっている場合があります。

※合併した宮崎市・小林市については、前年度との比較はしていません。

～えびの市の女性参画状況～

えびの市における各審議会等の女性委員登用率が30%（市の目標値）以上のもの

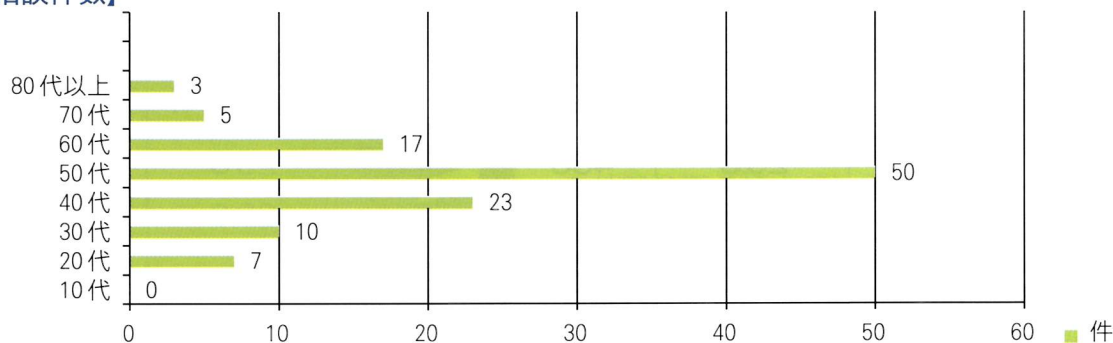
審議会・委員会名	委員総数 (人)	うち女性数 (人)	女性の参画率 (%)
えびの市 公務災害補償等 認定委員会	5	2	40.0
えびの市 公平委員会	3	1	33.3
えびの市 男女共同参画推進審議会	9	5	55.6
えびの市 表彰審議会	12	4	33.3
えびの市 行政改革推進委員会	10	3	30.0
えびの市 国民健康保険運営協議会	9	3	33.3
えびの市 地域包括支援センター運営協議会	16	7	43.8
えびの市 高齢者・障害者住宅改造審査委員会	17	10	58.8
えびの市 地域自立支援協議会	12	5	41.7
えびの市 廃棄物減量等推進審議会	12	5	41.7
えびの市 教育委員会	5	2	40.0
えびの市 就学指導委員会	26	16	61.5
えびの市 社会教育委員会	10	4	40.0
えびの市 青少年問題協議会	23	7	30.4
えびの市 図書館協議会	7	3	42.9
えびの市 子ども読書活動推進委員会	11	10	90.9

(平成23年3月31日現在)

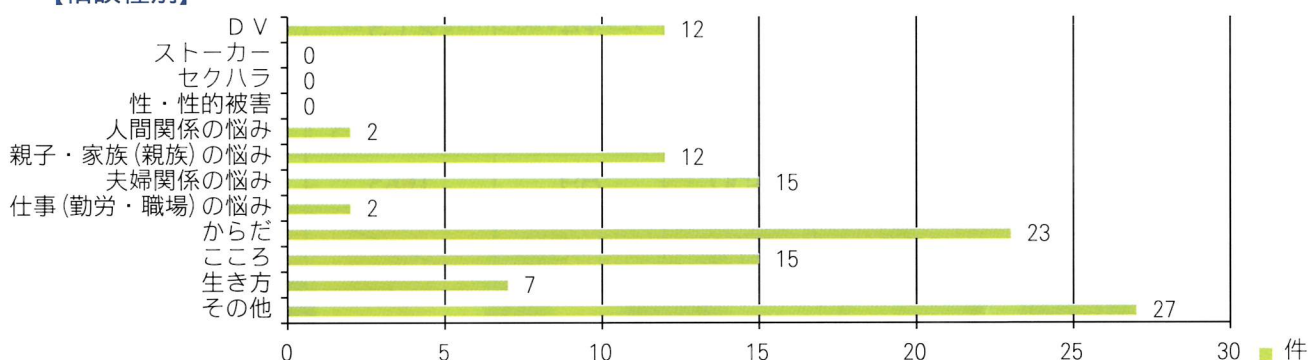
～えびの市女性相談所から～

【2010年度の相談の状況】相談件数は115件で、前年度に比べて16%の増でした。そのうち、ドメスティック・バイオレンス（DV）に関する相談は12件で、毎年2ケタを超えています。年代別では、40代、50代、60代からの相談が全体の78%を占めています。

【年代別相談件数】



【相談種別】



ひとりで悩まないで・・・配偶者やパートナーからの暴力(DV)・セクハラ・生き方・人間関係など様々な問題を抱えてどうしたらいいかわからない・・・そんなとき あきらめしないで ご相談ください。

●相談日 月曜日～金曜日(祝日・年末年始/休) 9時00分～16時00分

※秘密は厳守します。(相談は無料)女性相談員が対応 **相談専用電話 35-0152**

※面接相談を希望される方は、事前にご連絡ください。

『えびの市女性相談所5周年記念のつどい』を開催しました。

えびの市女性相談所は、DV(ドメスティック・バイオレンス)被害者支援及び女性の多様な生き方を支援することを目的に、平成18年10月に開設しました。当初は週1回の相談受付でしたが、今年4月からは月～金曜日の午前9時から午後4時までと、ほぼ常設に近いかたちに拡充しました。

当日はオフィスピュア代表のたもつゆかり先生の「人権の中で生きる地域づくりのために『男女の人権の尊重』のための実践～女性相談所5周年によせて～」と題した記念講演をうけ、相談員一同、気持ちも新たに6年目の相談業務に就いています。

記念のつどいには、市長はじめ、宮崎県生活・協働・男女参画課、宮崎県男女共同参画センター、NPO法人ハートスペースM、始良市女性相談所、日向市等、日頃からお世話になっている方々も出席してくださいました。



編集・発行

えびの市企画課 振興係

電話 0984-35-1111(内線321)

E-メール kikaku@city.ebino.lg.jp

市HP(男女共同参画) <http://www.city.ebino.lg.jp/display.php?clist=0042>